



1. 縄文時代後期配石群



2. 縄文時代中期出土人骨

●主な調査成果

遺跡からは近世、中世、奈良・平安時代、古墳時代、縄文時代、旧石器時代の各時代にわたる遺構・遺物が発見されています。縄文時代後期の遺構は、敷石住居跡、配石・土坑墓、屋外埋設土器、ピット群が発見されました。敷石住居跡は配石・土坑墓群を取り囲むように展開しています。中期では 20 軒を超える竪穴住居跡が発見されました。このうち中期後葉の住居跡の 1 軒からは人骨が床面に意図的に配置しているような状況で出土しています。伊勢原のような内陸からの縄文時代人骨の出土はそれだけで大変希少なものですが、出土人骨は骨化した遺体を焼き、住居跡の床面に配置するという複雑な過程を経ており、当時の葬送方法を考えるうえで非常に注目される事例となりました。

- 調査期間 2019年11月1日～2021年2月26日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 一般国道 246 号 (厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約 3 kmの秋山台地上

